

第3期障がい者就労支援推進計画「北海道働く障がい者応援プラン・第三章」に係る  
 工程表 概要 (平成29年度予定)

I 道民、企業、行政等の応援体制づくり

① 働く障がい者に対する道民の応援

2 地域ボランティア等による地域活動支援センター等への支援

D 取組内容	29年度	スケジュール
(2) ・地域イベントや公共施設等での出店スペースの優先的確保やボランティア協力 ・市町村における広報	道の庁舎や売店等での授産製品の販売及び販売に向けた検討	4月～ 道庁赤れんが庁舎売店及び振興局庁舎内での販売 6月～10月 赤れんが庁舎前庭での北のめぐみ愛食フェア参加 7月～8月 赤れんが庁舎前庭での障がい者就労カフェ実施 8月～3月 庁舎を活用した授産弁当（就労継続支援施設A型、B型が製造した弁当）の販売

3 授産事業所や障がい者雇用企業等からの購買促進

D 取組内容	29年度	スケジュール
(3) ・授産製品等の購買促進のためのホームページ等による広報 ・授産製品の価値や魅力（ブランド力）を高めるための検討	商品の価値や魅力を高めるための取組	次の研修会を実施予定 7月～ 「複数事業所が連携した加工食品共同開発事業」 10月 「看板商品・人気商品を作り出す研修会」

② 働く障がい者に対する道民の応援

6 官公需の発注促進

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(15)</p> <p>・マッチング事業&lt;共同受注システム&gt;の活用促進</p>	<p>指定法人の地域スタッフによる事業紹介と活用の働きかけ</p>	<p>随時</p> <p>「地域スタッフ」が市町村に対し、事業所と生産品目のリストを提供。</p> <p>4月</p> <p>指定法人において共同受注システムの登録案内を道内未登録事業所に対し実施。</p>

II 福祉的就労の底上げ

⑤ 製品等の販路拡大

12 マッチング機会の拡大と全道域での展開

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(25)</p> <p>・商談会の開催や経済団体等が主催する商談会等への参加</p> <p>・プレゼンテーションスキル向上を図るための研修の実施</p>	<p>企業と施設・事業所による商談会等の実施</p>	<p>4月</p> <p>小売店舗を展開する企業の商談会への参加を実施</p>

⑥ 関係機関のネットワークの充実

16 関係機関の連携による一体的な支援

D 取組内容	ねんど 29年度	すけじゅーる スケジュール
<p>(33)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会</li> <li>や障がい福祉計画等圏域連絡協議会</li> <li>での協議</li> <li>(総合) 振興局と市町村との連携強化</li> </ul>	<p>自立支援協議会</p> <p>や障がい福祉計画等圏域連絡協議会</p> <p>での協議</p>	<p>【障がい福祉計画等圏域連絡協議会】</p> <p>4月～</p> <p>各圏域に設置している、障がい福祉計画等圏域連絡協議会において、各年度のサービス供給量や市町村障がい福祉計画の推進状況等の分析、評価を行う。</p> <p>また、平成29年度は計画策定年であることから各市町村障がい福祉計画の策定状況及びサービス供給量について協議を行う。</p> <p>【自立支援協議会】</p> <p>6月～</p> <p>第5期北海道障がい福祉計画等の策定スケジュールの説明</p> <p>7月～</p> <p>第5期北海道障がい福祉計画等の基本的な考え方を協議</p> <p>10月～</p> <p>第5期北海道障がい福祉計画等の素案を協議</p>

Ⅲ 一般就労への推進

⑦ 移行サポート体制の整備

17 障害者の一般就労への移行促進

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(37)</p> <p>・ 関係機関などにおける職業訓練や専門的支援の実施</p>	<p>障害者職業能力開発校における訓練の実施</p>	<p>4月～</p> <p>訓練の実施（訓練期間 訓練科目により1～2年間）</p> <p>26名入校</p>
	<p>高等技術専門学院における訓練の実施</p>	<p>4月～</p> <p>訓練の実施（訓練期間1年間）</p> <p>函館学院 販売実務科 5名</p> <p>旭川学院 介護アシスト科 2名</p>
	<p>就職等の困難性の高い障がい者（難病等）の就労支援</p>	<p>・ 適宜、ハローワークによる障害特性に応じた就労支援</p> <p>・ 難病患者就職サポーターの配置（2名）</p>
	<p>職業準備支援の実施</p>	<p>・ 適宜、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者等幅広い障害者を対象とし、作業支援や職場適応力の向上のための講義を実施予定。</p>

⑩ 職場定着のための支援

20 関係機関の連携による職場定着

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(46)</p> <p>・ 障害者就業・生活支援センターや職場適応援助者(ジョブコーチ)等による支援の活用促進</p>	<p>障害者就業・生活支援センターによる支援(生活相談等支援、定着支援など)</p>	<p>4月～ センターによる相談支援 適宜 連携</p> <p>・ 11センターに対する事業委託 252百万円(雇用安定等事業)、 68百万円(生活支援等事業)</p>
<p>(49)</p> <p>・ 離職後のフォローについての検討</p>	<p>離職後のフォローについて関係機関が役割分担した適切な対応の検討</p>	<p>・ 精神障害者雇用トータルサポーターの配置(16名)</p>

IV 多様な就労の場の確保

⑪ 地域特性等を活かした就労機会の確保

22 障がい特性に応じた働く場の確保

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(54)</p> <p>・ 障がい当事者と対等な関係で相談支援を行うピアサポーターなどの就労の場の拡大</p>	<p>ピアサポーター等を対象とした研修会の開催</p>	<p>4月以降、ピアサポーター等を対象とした研修会を計26回開催する。</p>

⑫施設外就労、施設外支援等の就労形態の普及促進

24 企業と連携した新たな業態、業種の開拓・確保

D 取組内容	29年度	スケジュール
<p>(57)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携による福祉と農業等の連携による雇用の創出</li> </ul>	<p>農業等の就労事例の周知及び取組みの促進</p>	<p>【障がい者の多様な社会参加促進事業の実施】</p> <p>障がい者雇用の可能性がある産業の業界関係者にコーディネーターを派遣するなどして、障がい者雇用の理解促進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>① 障がい者就労や福祉との連携手法等をアドバイスするコーディネーターを事業者に派遣</p> <p>② 福祉と地域産業の連携事例等に係る報告会の開催</p>